

地方創生への取組

現在、各地方自治体は、国の「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づく「地方創生」の取組を推進しています。FFGでは地域金融機関に期待される役割をグループで一体となって発揮していくため、サポート体制を強化しています。

これまで以上に各地方自治体と連携を強化し、各種施策や取組に積極的に参画することで、「地域活性化」に向けた地域金融機関としての役割を果たしていきます。

地域経済の活性化、地域課題の解決

FFGでは、グループ3行およびグループ関連会社、さらには外部専門家・外部機関との幅広いネットワークを活かしながら、地域経済の活性化、地域課題の解決に向け様々なソリューションメニューを提供しています。具体的には、ファンドを活用した安定的な資金供給やグループ3行に設置する「事業力ワンセラー」と関係団体等とのネットワークを活用した創業支援、お客さまの販路開拓支援等のためのビジネスマッチングや国内外の商談会、物産展等を積極的に開催しています。

《ソリューションメニューの一例》
創業支援、事業承継、事業再生、PPP・PFI、海外ビジネス、産学連携、ビジネスマッチング、商談会、物産展開催等

地 域
産業・雇用の創出
観光振興
地域製品の販売促進
健康づくり支援
定住・移住促進
まちづくり支援

- 地域経済の活性化
- 地域課題の解決
- 連携協定、コンサルティング
- 産学連携



営業統括部
地方創生推進G

福岡銀行	熊本銀行	親和銀行
公務金融法人部 ・地方創生推進室 営業推進部 パブリックソリューション部 産業金融部 ソリューション営業部 グローバルソリューション部 デジタル戦略部	営業推進部 ソリューション営業部	地域振興部 営業推進部 ソリューション営業部

FFGビジネスコンサルティング、FFGベンチャービジネスパートナーズ、iBankマーケティング

外部機関

公的機関、中小企業診断士、税理士、監査法人、地域経済活性化支援機構

産学連携

大学研究機関等で生み出された技術やノウハウといった「シーズ(SEEDS)」と企業の「事業ニーズ(NEEDS)」とを結びつける産学官連携ネットワークを構築しています。また、行政機関等の各種施策(補助金等)の活用をサポートし、新規事業の創出や研究開発における課題解決等をお手伝いしています。

産学官連携の協定締結先

福岡銀行 北九州市、九州大学、福岡大学、佐世保市、福岡工業大学、長崎市、熊本大学、長崎大学
熊本銀行 合志市、熊本大学、崇城大学、東海大学、水俣市
親和銀行 長崎県、長崎市、佐世保市、長崎大学、佐世保工業高等専門学校、長崎総合科学大学、長崎県立大学、長崎国際大学

自治体との連携・

コンサルティング業務

各地方自治体の諸会議に参加し、ノウハウの提供や具体的事業の提案を行う「連携協定」や、地方創生に向けたプロジェクトの組成・遂行を支援する「コンサルティング業務」を実施しています。

地方創生の連携協定先

福岡銀行 嘉麻市、行橋市、筑後市、古賀市、福岡県、久留米市、宮若市、唐津市、田川市、柳川市、鳥栖市、広川町、八女市、宗像市
熊本銀行 薩摩川内市、熊本市、益城町、南関町、宇城市、阿蘇市
親和銀行 諫早市、鹿島市、長崎県、唐津市、武雄市、西海市

ここでは、FFGが各自治体と連携して実施した取組の一部をご紹介します。

福岡県宗像市との取組

宗像市、福岡銀行、FFGは平成29年12月、宗像市における産業及び地域経済の活性化と市民生活の質の向上に寄与することを目的として、「地域活性化に向けた連携と協力に関する協定書」を締結しました。その後、福岡銀行及びFFGが持つ幅広い顧客網、金融や経営面に関するノウハウやツールを有効活用し、地域活性化に向けた取組に連携協力しています。その中で、平成30年度に取組んできた「宗像応援eあいてむ事業」「道の駅むなかたりニューアルイベント」「移住・企業誘致セミナー・相談会」についてご紹介いたします。

■「宗像応援eあいてむ」

株式会社マクアケが提供する購入型クラウドファンディングを活用して、宗像市内の事業者の新商品の開発やテストマーケティング、商品の販路拡大を支援するプロジェクトです。購入型クラウドファンディングとは、新商品やサービスを生み出すための資金をインターネットを通じて不特定多数の人たちから集め、資金を出した人へ、出来上がった商

品やサービスを返す仕組みです。簡単に言えば「インターネットを通じた先行予約販売」であり、大手だけでなく中小企業でも新商品開発に着手しやすいため、現在市場規模は拡大しています。今回の事業では、宗像市、宗像市商工会、株式会社マクアケ、福岡銀行、FFGビジネスコンサルティングが連携し、**購入型クラウドファンディングセミナーや個別相談会の開催、商品開発のアドバイス、プロジェクトページの作成、開発後の販路開拓までを一貫して支援すること**で、宗像市内の4事業者が新商品を開発することができ、また全ての事業者が目標金額の資金調達を達成することができました。

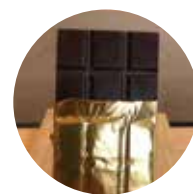
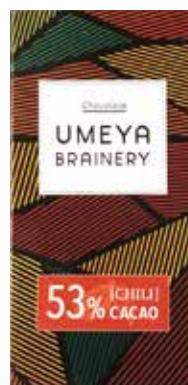
今回の実施事業者からは新しい商品を開発する時は再度利用したいという声が寄せられていることに加え、宗像市からは、取組や結果を見て、関心を持った事業者が多数いらつしやるとの話を伺いました。FFGでは、事業者が新しい商品・サービスを作り出す支援を引き続き行つてまいります。

クラウドファンディングによる新商品



1. 有限会社うめ屋 《業界激震》芳醇な香りと味わいを堪能できる辛子明太子〜黒トリュフ仕込み〜
2. かのこゆり「あなごめし」 自宅で簡単に味わえる！「世界遺産と食材の街」宗像の絶品あなごめし
3. にじいろのかさ 卵・乳製品・小麦が入ってなくても「絶品！」なケーキ店、「にじいろのかさ」のケーキが食べられる！
4. 粋工房株式会社 宗像の海から生まれた「大島翡翠」〜大島のエメラルドグリーンのようなグラス〜

新たな商品開発



有限会社うめ屋 カカオ豆から作ったオーガニックチョコレート(有限会社うめ屋の関連会社 UMEYA BRAINERY株式会社が製造)

FFGは
新商品開発を支援



■「道の駅むなかたリニョールイベント」

「道の駅むなかた」は九州を代表する道の駅です。玄界灘の海の幸、新鮮な地元野菜、豊富なお土産等が充実しており、来場者は年間170万人にのびります。「道の駅むなかた」は、平成30年10月に芝生広場の新設、駐車場拡張というリニョールを実施し、平成30年10月8日には「道の駅むなかた芝生広場オープン記念大感謝祭」を開催しました。

むなかた牛サイコロステーキやむなかた鶏の炭火焼といった宗像の特産品はもとより、市内クラフト工房による体験コーナー、長崎県のカステラ、松浦市のアジフライ、南島原市の農産物等、約40事業所・自治体がブースを出店しました。FFGビジネスコンサルティングは民間事業者と連携し、イベントの企画、事業者の出店調整、周知・PR、イベント運営支援等を行いました。

台風によるあいにくの悪天候の影響で当初3日間の予定から1日のみの開催となりましたが、開催当日は大勢のお客様が来場され、大いに賑わっていました。「道の駅むなかた」では、今後も芝生広場を活用したイベントを検討しているようです。



イベント風景



FFGは
イベント企画・運営支援
事業者募集を実施



■「移住・企業誘致セミナー・相談会」

平成30年11月2日、東京都にあるFFGの施設「DIAGONAL RUN TOKYO(ダイアゴナルラン東京)」のイベント広場で開催しました。宗像市の大島は福岡県の有人離島の中では一番人口が多く、約640人が暮らしています。また豊かな自然環境に囲まれているほか、世界遺産『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』の構成資産である宗像大社中津宮、沖津宮遥拝所があり、神聖な沖ノ島を守り続けてきた島として、近年は観光客が増加傾向にあります。ただ、高齢化や人口減少は激しく、空き家や遊休地が増加しているという課題もありました。

そこで、新たな担い手を探すため、「移住・企業誘致セミナー・相談会」を開催しました。大島や宗像市本土で起業された3人をゲストスピーカーとしてトークセッションを行い、その後は宗像市産品を活用した料理を振る舞い、「胃充(いじゅう)懇親会(きんけんかい)」を行いました。

参加者からは「宗像市に非常に興味を持った」「宗像市に行って見たい」「トークセッションの登壇者を応援したい」などの声が聞かれました。



セミナー、懇親会



会場はFFGのダイアゴナルラン東京

FFGは
セミナーの企画から
運営までを実施



福岡県糸島市との取組

糸島市、福岡銀行、FFGは平成25年12月、糸島市の経済振興に寄与することを目的に、連携協力に関する基本協定を締結しました。中小企業支援での連携にあたっては、糸島市内企業とFFG取引先企業とのマッチングを掲げており、具体策として「糸島市マーケティングモデル商品開発及び販路開拓支援業務」に取組みました。

本事業は、博多女子高等学校及び糸島市食品産業クラスター協議会と連携し、**食会参加バイヤーの招聘、試食会での商品開発のアドバイス**、その後、販路開拓支援を行いました。

試食会は、博多女子高等学校で開催し、糸島市食品産業クラスター協議会で推挙された7つの商品・5事業者が一同に会し、同高校生徒とともに招聘したバイヤーによる商品品評や開発上の視点・改良ポイントの提示を行いました。

販路開拓支援では、各商材に即した販売先を選定し、商談を実施しました。結果、受注につながる事例を生むことができました。今後も、地元企業の支援を継続的に実施してまいります。



試食会場風景



販路開拓に関する意見交換の様子

天草空港利用促進協議会 (熊本県、上天草市、天草市、 苓北町、他各種団体 との取組

熊本県や天草地区の自治体、地元商工団体等で構成される天草空港利用促進協議会からの受託事業として、天草ー福岡の二地域間における「ビジネス・産業交流促進事業」の取組を行いました。

本事業は、福岡空港と天草空港を結ぶ地方航空路線の需要を創出することを目的に、天草地域の地元企業と福岡の企業との産業分野での交流促進策として、**ビジネスマッチング(個別商談)**を取組みました。

商談の場を約40件設定し、フォローを行なった結果、早速、商取引が開始した事例を複数生むことができました。福岡市と天草地区の両方に拠点を置くFFGのグループ総合力を発揮した地方創生事業といえます。今後も、九州に張り巡らされているFFGのネットワークを活かした地域経済の活性化を進めてまいります。



天草エアラインの機体(提供:天草エアライン株式会社)



天草エアライン株式会社 吉村社長による説明



関係者打合せ風景

長崎県西海市との取組

西海市、親和銀行、FFGは平成28年12月、緊密な協力と信頼関係のもとに幅広い分野で相互に連携・協力し、互いが有する資源や機能等の効率的活用を図りながら、地域経済の活性化及び地域社会の発展に寄与することを目的として、「地方創生に関する協定」を締結し、地方創生に取組んできました。

今年度は、西海市水産業の活性化を図るため、**水産従事者・関係者の先進地視察、セミナー・ワークショップ**を西海市、株式会社西海クリエイティブカンパニー（西海市の地域商社）、FFGビジネスコンサルティングが連携して取組みました。

先進地視察では、鹿児島県日置市の江口蓬菜館・江口漁協や同県阿久根市のイワシビルを訪問し、観光客を活かした水産業活性化事業や、商品開発、デザインやブランディングについて学ぶことができました。後日に開催したセミナーでは、西海市の漁師や漁協職員、加工業者、飲食店、サービス業等の様々な職種の人々が参加し水産業活性化のための先進事例を学んだほか、ワークショップでは現状分析や水産業活性化のための施策を考えてもらいました。参加者からは「ワークショップは初めてだったけど、他業種の話が聞けて参考になった」「今回考えた施策を実現に向けて進めたい」など前向きな意見が多数聞かれたほか、早速今後の連携に向けて話を進めている方々もおられました。

FFGは
セミナー視察の企画から
運営までを実施



視察風景（イワシビル）



視察風景（江口漁協）



セミナー・ワークショップ

長崎県諫早市との取組

開業まで3年あまりとなった九州新幹線西九州ルートの部分開業を控えた長崎県諫早市では、新幹線開業をまちづくりの起点とする動きが高まっています。

FFGビジネスコンサルティングでは諫早市とともに、継続して「行動計画」の策定業務に携わっており、平成29年度は、計画策定の材料となる定量評価や先進事例収集・分析や行動計画のたたき台を作成する「新幹線開業を活かした諫早市魅力創出行動計画策定の基礎調査等業務」に取組みました。

諫早市では、計画を検討・協議する段階から官民一体での取組を必要ととらえ、平成30年度に「新幹線開業を活かした諫早市魅力創出行動計画策定会議」を設置しました。FFGビジネスコンサルティングは、幅広い業種・団体・世代で構成される検討部会において、活性化に向けたアイデアや具体的なお案が参加者から多く発言がなされるよう、複数回に亘るワークショップ開催時のファシリテートや講演会の企画運営を行い、提示された意見のとりまとめを行いました。

来たる新幹線開業に向けて、様々な形でまちづくりに携わってまいります。



新しい諫早駅の完成ベース（提供：諫早市）



ワークショップ



施策案の発表